

「共生社会の実現に貢献」新たな取り組み NHKパラリンピック放送リポーター

パラ競技やパラアスリートの魅力を、障害のあるなしに関わらず伝えていくNHKパラリンピック放送リポーター。パラスポーツへの機運醸成と、東京2020後の共生社会実現に貢献する役割を担います。

その第1弾として、NHKが、障害がある人に呼び掛けて初めて採用した3人のリポーターが今後、NHKパラリンピック放送リポーターとしてますます活躍の場を広げていきます。



左より

○後藤佑季（ごとう・ゆうき）

1996年7月30日生まれ 岐阜県出身
聴覚障害（人工内耳使用）

○千葉絵里菜（ちば・えりな）

1994年11月3日生まれ 北海道出身
脳性まひ（電動車いす使用）

○三上大進（みかみ・だいしん）

1990年10月20日生まれ 東京都出身
左上肢機能障害

<これまでの活動>

2017年10月よりリポーターとして活動。2018年3月のピョンチャンパラリンピックでは現地からパラアイスホッケーの競技中継やレポートに出演。

首都圏ネットワーク、ハートネットTV、おはよう日本、サンデースポーツ2020など様々な番組でパラスポーツや選手の魅力を発信中。さらに、パラリンピックの理念である「共生社会実現」に向けた各地の取り組みを取材している。

<今後の出演予定／取材予定>

○2020スタジアム（7月24日、8月28日 など）

○首都圏ネットワーク、ひるまえほっと、ハートネットTV、まるっとぎふ など随時

○パラ競泳世界選手権（9月／イギリス・ロンドン）

パラ陸上世界選手権（11月／UAE・ドバイ） など 国内、国外の大会を取材予定